



笠縫東学区の健康かるて（令和7年度版）

【令和7年12月作成】

草津市人とくらしのサポートセンター

地区担当保健師



1.人口構成と世帯数（R7.4.30）※市と比較して区分割合が高い項目に着色

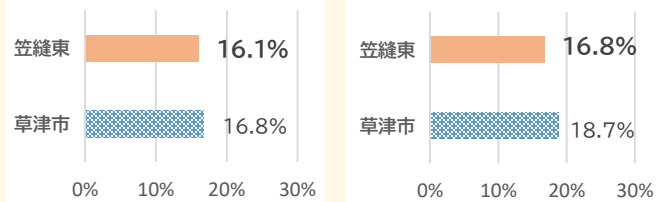
年齢区分	0～14歳		15～64歳		65歳以上		計(人数)	世帯数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津	2,482	17.4%	9,318	65.1%	2,505	17.5%	14,305	6,323
志津南	1,275	18.7%	4,012	58.9%	1,527	22.4%	6,814	2,585
草津	1,630	13.6%	7,604	63.4%	2,752	23.0%	11,986	5,817
大路	1,498	12.5%	8,043	67.1%	2,438	20.4%	11,979	5,748
矢倉	1,143	12.0%	6,107	64.0%	2,286	24.0%	9,536	4,489
渋川	1,283	13.4%	6,491	67.6%	1,827	19.0%	9,601	4,625
老上西	1,406	16.1%	5,471	62.7%	1,855	21.2%	8,732	3,467
老上	2,603	20.1%	8,258	63.7%	2,103	16.2%	12,964	5,823
玉川	1,307	10.5%	8,765	70.5%	2,354	18.9%	12,426	6,793
南笠東	735	9.5%	5,128	66.6%	1,836	23.8%	7,699	4,192
山田	929	11.9%	4,492	57.6%	2,380	30.5%	7,801	3,530
笠縫	1,546	13.8%	6,295	56.3%	3,337	29.9%	11,178	4,963
笠縫東	1,593	14.6%	6,466	59.4%	2,827	26.0%	10,886	4,916
常盤	642	13.3%	2,642	54.7%	1,549	32.1%	4,833	1,913
草津市	20,072	14.3%	89,092	63.3%	31,576	22.4%	140,740	65,184

4.高齢者の状況

（※③は、40～64歳の第2号被保険者も含む）

①単身高齢者の割合（R7.4）

②介護認定率（R7.4）



③介護が必要となった原因で最も多い疾患（R1～R2新規申請者）

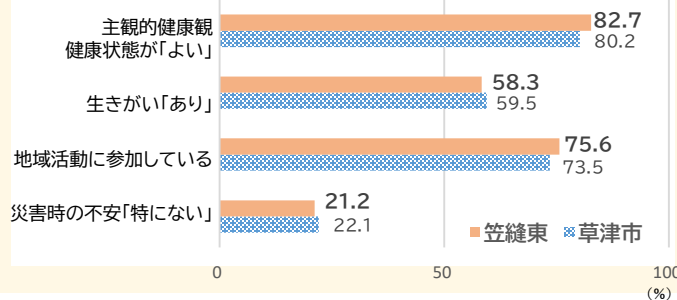
【要支援認定となった人】
脳梗塞
高血圧症

【要介護認定となった人】
消化器系がん



④介護予防・日常生活圏ニーズ調査結果（R4年度）

※対象65歳以上（要介護1～5の認定を受けていない方）



2.妊娠・出産・子育て（乳幼児健診問診結果）

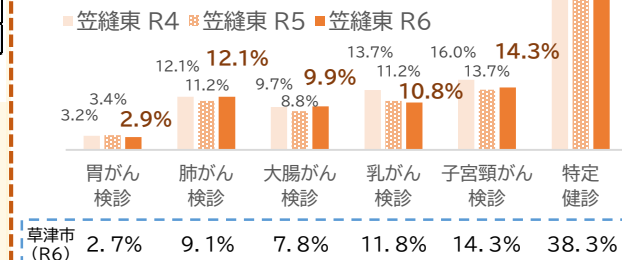
①育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合（R6年度）

フェイススケール		1	2	3	4	5	6
1歳6か月児	笠縫東	62.2%	24.3%	10.8%	1.4%	0.0%	1.4%
	草津市	52.4%	30.4%	14.3%	1.4%	1.1%	0.3%
4か月児	笠縫東	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	草津市	65.1%	26.7%	6.7%	0.1%	0.3%	0.2%

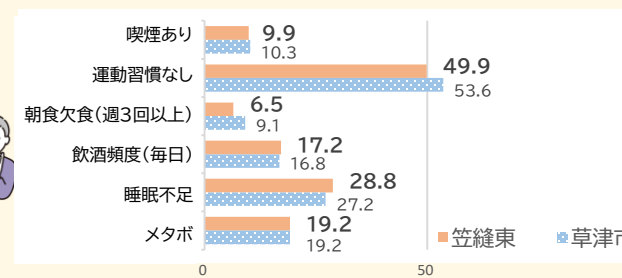
3.からだの健康・生活習慣

①市が実施しているけん診の受診率推移（R4～6年度）

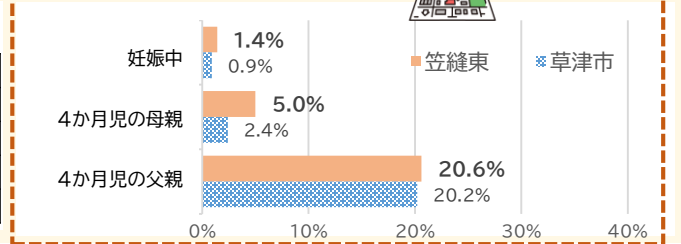
受診率については、市が実施しているがん検診および草津市国保加入者を対象とした特定健診の受診率です。



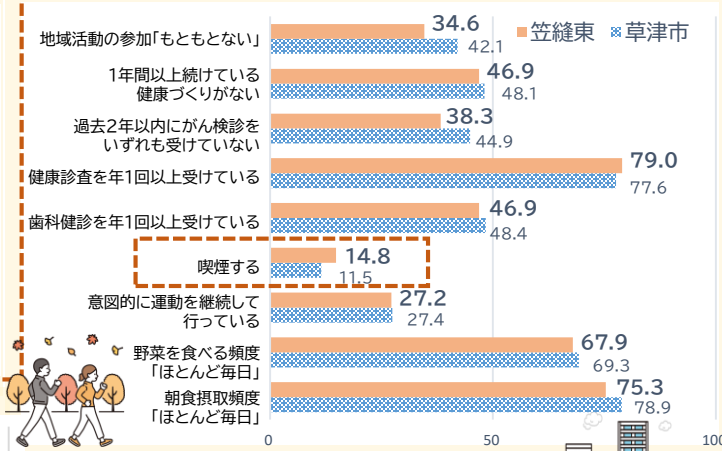
②特定健診問診・検査結果（R6年度）



②喫煙状況（R5～6年度：4か月児健診時）



③健康に関するアンケート調査結果（R4年度）※対象18～74歳



5.地域資源（地区組織活動・社会資源等）

子育てサークル・拠点施設	6か所	スーパー	1か所
地域サロン	9か所	コンビニ	4か所
医療機関	医師：13か所 歯科：5か所	ドラッグストア	2か所
薬局	8か所	町内会	16

地域の目指す姿（目標）：笠縫東学区の住民が、自らの健康に関心をもち、よい健康習慣を継続し、本人が望む生活を送ることができる。

地域の特性と健康課題

・人口はどの区分も増加しており、元々の地域と新興住宅地が入り混じったエリアです。孤立しないように地域とのつながりをもち見守り合える関係性が必要です。
・学区内には医療機関が多く、けん診の受診率が市と比較して高い状況となっており、健康づくりに関心をもっている人が多いエリアです。
・乳幼児健診の問診結果や健康に関するアンケート調査では喫煙習慣のある人が多いことから、実態把握を積み重ねながら生活習慣の見直しを行う必要があります。

健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況

・学区住民の生活習慣（食生活や運動習慣、喫煙状況等）の把握を進め、あらゆる世代の人が自身の健康に関心をもち、よりよい生活習慣をもてるよう、商業施設での健康測定会や地域活動の場での啓発を行っていきます。
・高齢者や子育て世代等の孤立予防のため、地域で行われているサロンや赤ちゃん訪問の情報把握を進め、必要とする人に情報提供を行っていきます。